

「電波の日」東海総合通信局長表彰

1 個人:2件、団体:3件

(敬称略)

受賞者名	功績の概要
あいかわ ゆうじ 相川 勇次 (一般社団法人南知多漁業無線協会 豊浜漁業無線局 局長)	多年にわたり、漁業用船舶局の安全運行に尽力するとともに、豊浜漁業無線局局長として無線従事者の適切な指導育成に努めるなど、漁業無線の健全な発展に多大な貢献をされました。
さかい じゅんや 酒井 順哉 (名城大学 名誉教授)	「東海地域の医療機関における電波利用連絡推進協議会」会長として、卓越した指導力と豊富な経験で「医療機関における安全な電波利用を目指すためのチェックリスト」の策定等に尽力し、医療機関における適正な電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。
一般社団法人東海自動車無線協会 (会長 あまの きよみ 天野 清美)	多年にわたり、タクシー無線の普及や周波数の有効利用に資するデジタル化の推進を行うとともに、会員に対して無線局管理や電波法令の遵守・徹底を推進するなど、電波利用環境の健全な発展に多大な貢献をされました。
独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校 (校長 ふるやま ゆういち 古山 雄一)	携帯電話事業者との間で、災害時において練習船「鳥羽丸」に「船舶型基地局」を設置し運航等を行う協定を締結することにより、災害時における携帯電話エリアの迅速な復旧体制の構築に多大な貢献をされました。
三重県立水産高等学校 (校長 たにおく しげる 谷奥 茂)	携帯電話事業者との間で、災害時において実習船「しろちどり」に「船舶型基地局」を設置し運航等を行う協定を締結することにより、災害時における携帯電話エリアの迅速な復旧体制の構築に多大な貢献をされました。